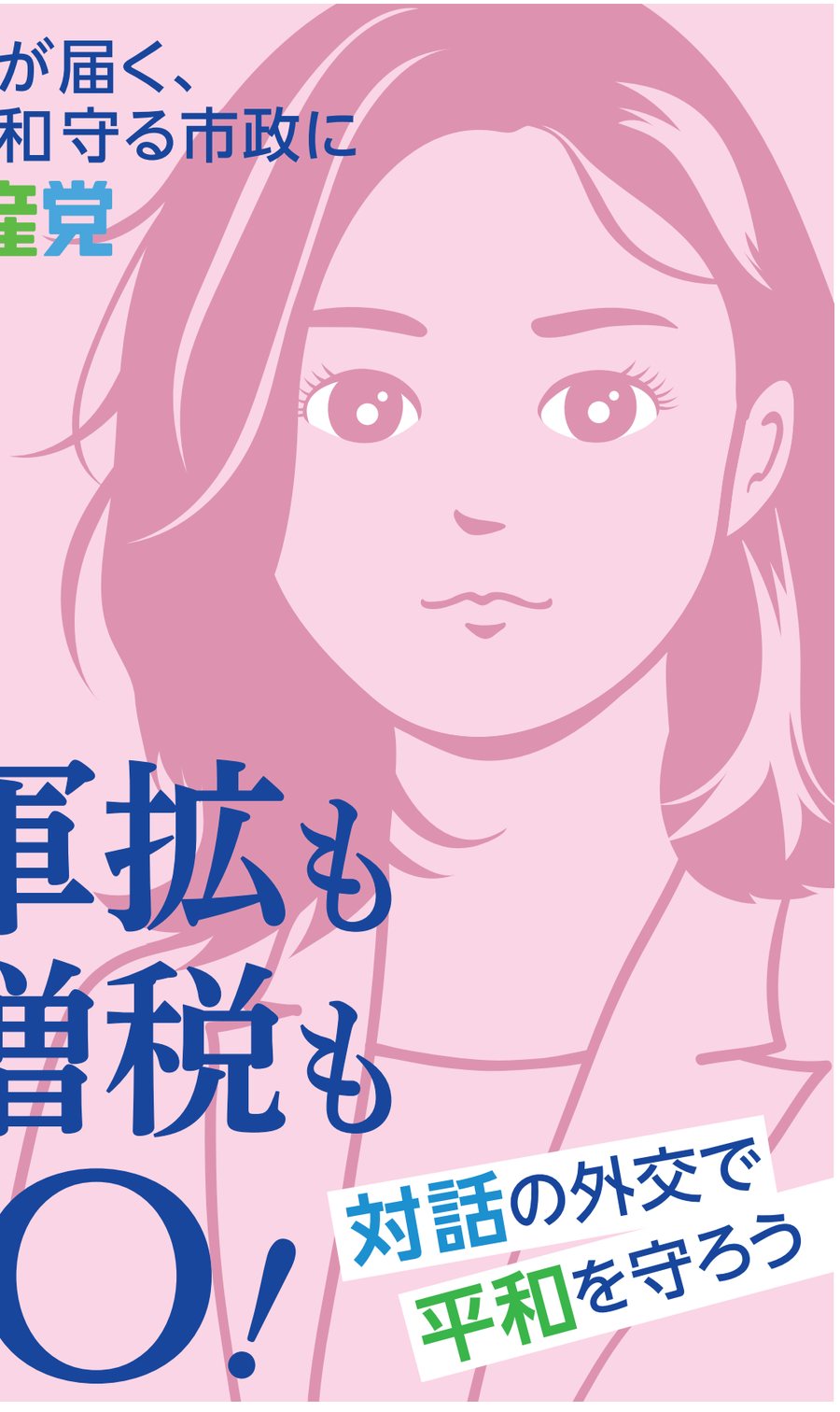
市民の声が届く、
くらし・平和守る市政に
日本共産党



大軍拡も大増税もNO!

対話の外交で平和を守ろう

こうのす民報 2023年4月号外　日本共産党鴻巣市委員会　鴻巣市天神5−5−15　TEL 048−543−1602（石川善伴）

軍拡やめて
子育て3つのゼロを

岸田政権は、5年間で43兆円もの軍拡方針です。43兆円あれば、学校給食費無料が100年間実現できます。

「戦争の準備」ではなく、「平和を準備」しましょう。日本共産党の「3つのゼロ」で子どもたちの笑顔が広がる鴻巣市をつくりませんか。

① 小中学校給食費 **ゼロ**

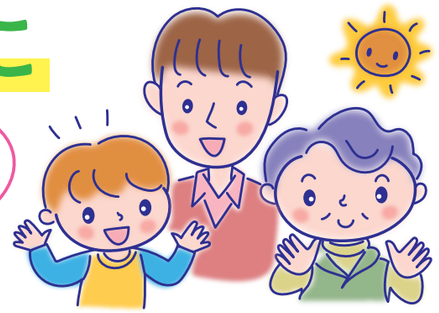
② 子どもの国民健康保険税（均等割） **ゼロ**

③ すべての0〜2歳児の保育料 **ゼロ**

日本共産党とともに実現しましょう！

市民の運動を力に願い実現

日本共産党議員団



高齢者福祉センター「ひまわり荘」存続！

3月議会に提案された、川里・ふるさと館にある高齢者福祉センターの入浴施設「ひまわり荘」の「老朽化」を理由に、2024年4月1日に廃止する議案を、賛成5人・反対12人・棄権4人、賛成少数で否決しました。

年間6000人以上の利用があり、地域の交流の場となっている施設です。

日本共産党議員団は、地域住民の「存続」を求める運動とともに、議会で廃止の議案に反対討論を行い「否決」に導きました。

「保育士の配置基準の見直し及び処遇改善を求める意見書」可決！

「保育士の人数を増やして」「保育士の処遇改善を」という現場からの声、また保護者の声を受け、日本共産党議員団とひとり会派議員が3月議会に提案した「保育士の配置基準見直し及び処遇改善を求める意見書」は、賛成11人反対10人で可決しました。

鴻巣市議会として、国に対して意見書を提出することになりました。

鴻巣駅東口にエレベーター設置実現へ

鴻巣駅東口へのエレベーター設置は、市民の長年の強い要望です。日本共産党は、繰り返し議会で取り上げるとともに、「鴻巣駅を良くする会」の皆さんと署名活動に取組み3225筆を市に届けてきました。伊藤岳参議院議員と共にJR高崎支社と懇談。市も必要性を認め、2022年度は調査研究費、2023年度予算に予備設計費が計上されました。早期に設置されるよう引き続き声を届けていきます。

皆さんと力を合わせ取組みます

- 新ごみ処理施設は、住民の声を生かし、地球環境にやさしい施設に
- 小中学校統廃合の見直しを
- 利用しやすい介護保険制度に
- フラワー号・ひなちゃんタクシーなどをもっと利用しやすく

日本が守られるなら軍拡もしかたない…というみなさんへ

岸田政権の5年間で

軍事費を2倍にする計画

日本を守るものではありません

敵基地先制攻撃のため長射程ミサイル爆買い

今年度、射程1600キロのトマホークミサイル400発を2113億円で購入します。北京や平壌まで飛ぶミサイルが専守防衛に必要でしょうか。

大軍拡がくらしと財政を破壊

大軍拡のためには、増税だけでなく、年金や医療の積立金まで流用。社会保障費のさらなる抑制や軍事費への国債充当にも踏み出しました。このままでは国民のくらしを全面的に破壊し、国家財政の破綻をもたらします。

埼玉県内の主な日米の軍事基地・施設

埼玉県も火の海に？報復戦争を呼び込む

浜田靖一防衛相は相手国の報復攻撃で「日本に大規模な被害が生じる可能性も否定できない」と国会答弁。埼玉県にも自衛隊入間基地はじめ朝霞駐屯地・大井通信所・大宮駐屯地などがあります。埼玉県も火の海となりかねません。

戦争の心配のないアジアへ

日本共産党の外交ビジョン

ASEANは今、米国、中国、日本なども参加した「東アジアサミット」という「平和の枠組み」を強化しています。ASEANと協力し、東アジアを平和の地域にするために、日本こそ憲法9条を生かした外交を――これが日本共産党の外交ビジョンです。

くらしと平和を守る願いは、日本共産党へ